



# 学校だより

令和6年1月9日  
横浜市立南本宿小学校  
校長 鈴木 亘世  
No. 562

## 新年 あけましておめでとうございます

校長 鈴木 亘世

新しい年を迎えました。『令和』となってもう6年、はやいものです。祝日『成人の日』があり、火曜日からのスタートです。学校には、子どもたちの笑顔や元気なあいさつの声が戻ってきました。冬休み前は暖かい日が多く、外で元気よく遊ぶ姿がよくみられました。年明けからも寒さに縮こまらず、のびのびと体を動かす活動を取り入れていきたいと思います。昨年末は新型コロナウイルス感染症は収まっているものの、インフルエンザの流行で学級閉鎖もありました。乾燥が続き、免疫も低下しているため、体調管理が難しい時期でもあります。冬休み中のお子様の体調管理や課題への支援等ありがとうございました。学校でも引き続き感染防止対策を徹底してまいります。ご家庭でもよろしく願いいたします。

さて、先日こんな記事を目にしました。『洲本城跡に石塁 頑丈な土塀の基礎か』兵庫県の淡路島にある洲本城を調査した結果、石垣の上部に「石塁」と呼ばれる部分があったことがわかったということでした。そもそも洲本城の石垣を修復するプロジェクトが行われており、解体工事に伴う調査での発見だったようです。さらに石垣をクローズアップしてテレビでも取り上げており興味深かったです。石垣を支える石一つ一つが大切な役割を担っていること。表面に見えている石は小さくても、実は見えていない部分は大きいこと。修復できる職人が少なくなっていること…映像ではありますが、その石垣の役割や、修復することの大変さや、歴史あるものを未来につなぐことの意味等様々な思いが胸に迫りました。淡路島洲本城は、私の中で実際に見てみたい、一度訪ねてみたい場所となりました。このように、何かがきっかけで興味を持ったり、考えてみたりすることはたくさんあり、子どもたちの世界を開くものもきっと多くあると思います。6年生はいよいよあと3か月で卒業です。卒業文集では、自分を見つめて文章を書いていました。私も読ませてもらいましたが、いちばんの思い出や自分を変えるきっかけになったこと、自分が大切にしていきたいことなど、一人ひとりが真剣に考え、文章にしたことが伝わってきました。悔いのない、3か月間にしてほしいと願っています。もちろん、1～5年生も、次の学年へ進学・進級する子どもたちが3か月で自分の目標に向かって、今まで努力してきたこと、継続してきたことをさらに積み重ねていけるよう教職員一同支援してまいります。本年もよろしく願いいたします。